

加古川市事務事業評価シート〈平成27年度実施事業〉

事務事業名	ほ場整備事業に要する一般的経費	部局名	地域振興部
		課(室)名	農林水産課

【基本情報】

基本目標	04にぎわいの中で暮らせるまちをめざして
政策	01農業・水産業を振興する
施策	01農業を振興する
事業実施期間	～ 永年
事業区分	①一般事務経費事業
地区別	市内全域
関連根拠法令等	土地改良法

【事業概要】

現状と課題	水田農業の経営状態は、稲作単一経営志向にあるため、特に生産性向上の立ち遅れ、土地利用の低下による農業所得の停滞、担い手の減少と高齢化等、水田農業を展開していくうえで多くの課題を抱えている。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	ほ場整備事業の維持管理等業務を円滑に推進する。
対象 ※誰、何に対して	ほ場整備事業
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	ほ場整備区域内の維持管理等を円滑に推進するため必要な事務を行う。

【コスト】

	平成27年度(決算見込)	
事業費合計	154千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	千円
	一般財源	154千円

【会計】

会計	01一般会計
款	06農林水産業費
項	03農地費
目	04ほ場整備事業費
細目	005ほ場整備事業

【コスト推移】

	平成27年度(決算見込)	平成26年度(決算)	平成25年度(決算)
事業費合計	154千円	175千円	166千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	予算の適正な執行により、ほ場整備事業を円滑に推進するうえで十分な事業効果をあげている。

加古川市事務事業評価シート〈平成27年度実施事業〉

事務事業名	ほ場整備事業に要する一般的経費	部局名	地域振興部
		課(室)名	農林水産課

※政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業の一部については、以下の項目は空白です。

【対象】

対象指標名	単位	平成27年度	平成26年度	平成25年度

【事業実績】

活動指標名	単位	平成27年度	平成26年度	平成25年度
活動指標 分析結果				

【事業成果】

成果指標名	単位	平成27年度	平成26年度	平成25年度	目標年度	目標値
成果指標 分析結果						

加古川市事務事業評価シート〈平成27年度実施事業〉

事務事業名	土地改良行政に要する一般的経費	部局名	地域振興部
		課(室)名	農林水産課

【基本情報】

基本目標	04にぎわいの中で暮らせるまちをめざして
政策	01農業・水産業を振興する
施策	01農業を振興する
事業実施期間	～ 永年
事業区分	①一般事務経費事業
地区別	市内全域
関連根拠法令等	土地改良法

【事業概要】

現状と課題	土地改良施設の老朽化に起因する突発事故の発生件数が増加傾向にあり、農業被害のみならず、住宅・公共施設への二次被害を及ぼすリスクが高まっている。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	土地改良事業を円滑に推進する。
対象 ※誰、何に対して	土地改良事業
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	農業の生産性の向上、農業総生産の増大、農業生産の選択的拡大、更には農業構造の改善を図るため、農業生産の基盤の整備及び開発により土地改良事業を円滑に推進する。

【コスト】

	平成27年度(決算見込)	
事業費合計	310 千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	千円
	一般財源	310 千円

【会計】

会計	01一般会計
款	06農林水産業費
項	03農地費
目	01農地総務費
細目	005土地改良行政に要する一般的経費

【コスト推移】

	平成27年度(決算見込)	平成26年度(決算)	平成25年度(決算)
事業費合計	310 千円	331 千円	372 千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了 予算の適正な執行により、土地改良事業を円滑に推進するうえで十分な事業効果をあげている。
---------------------------------------	---

加古川市事務事業評価シート〈平成27年度実施事業〉

事務事業名	土地改良行政に要する一般的経費	部局名	地域振興部
		課(室)名	農林水産課

※政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業の一部については、以下の項目は空白です。

【対象】

対象指標名	単 位	平成27年度	平成26年度	平成25年度

【事業実績】

活動指標名	単 位	平成27年度	平成26年度	平成25年度
活動指標 分析結果				

【事業成果】

成果指標名	単 位	平成27年度	平成26年度	平成25年度	目標年度	目 標 値
成果指標 分析結果						

加古川市事務事業評価シート〈平成27年度実施事業〉

事務事業名	農業行政に要する一般的経費	部局名	地域振興部
		課(室)名	農林水産課

【基本情報】

基本目標	04にぎわいの中で暮らせるまちをめざして
政策	01農業・水産業を振興する
施策	01農業を振興する
事業実施期間	～ 永年
事業区分	①一般事務経費事業
地区別	市内全域
関連根拠法令等	

【事業概要】

現状と課題	食の洋食化、多様化等により米消費量の減少が米価の下落に連動し、農業離れに拍車がかかる。そして後継者不足及び農家の高齢化により耕作放棄地が増加。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	円滑な農業行政の推進を図る。
対象 ※誰、何に対して	農林水産課職員、県、国等の農業行政関係機関及び市内の農業関係者
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	加古川市の農業行政を円滑に推進するため、必要とする消耗品等の購入、公用車の整備、行政関係機関への負担金の負担や農業団体の支援を行う。

【コスト】

	平成27年度(決算見込)	
事業費合計	996千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	千円
	一般財源	996千円

【会計】

会計	01一般会計
款	06農林水産業費
項	01農業費
目	02農業総務費
細目	005農業行政に要する一般的経費

【コスト推移】

	平成27年度(決算見込)	平成26年度(決算)	平成25年度(決算)
事業費合計	996千円	913千円	613千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	加古川市の農政推進にかかる事務経費であり、経費縮減のうえ必要最低限の経費で事務執行が行われている。

加古川市事務事業評価シート〈平成27年度実施事業〉

事務事業名	農業行政に要する一般的経費	部局名	地域振興部
		課(室)名	農林水産課

※政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業の一部については、以下の項目は空白です。

【対象】

対象指標名	単位	平成27年度	平成26年度	平成25年度

【事業実績】

活動指標名	単位	平成27年度	平成26年度	平成25年度
活動指標 分析結果				

【事業成果】

成果指標名	単位	平成27年度	平成26年度	平成25年度	目標年度	目標値
成果指標 分析結果						

加古川市事務事業評価シート〈平成27年度実施事業〉

事務事業名	農業振興事業に要する一般的経費	部局名	地域振興部
		課(室)名	農林水産課

【基本情報】

基本目標	04にぎわいの中で暮らせるまちをめざして
政策	01農業・水産業を振興する
施策	01農業を振興する
事業実施期間	～ 永年
事業区分	①一般事務経費事業
地区別	その他
関連根拠法令等	

【事業概要】

現状と課題	①優良農地の保全に努めているが、経済事情等の変化で、やむをえなく他の用途に変更せざるを得ない場合がある。また、農業経営基盤強化促進法の変更等により市の判断を求められる場合がある。②米は市の主要作物である。③地産地消の必要性を求められ、地域ブランドの確立が必要である。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	①優良農地の確保 ②主要作物である米の栽培方法の普及 ③地域ブランド米の普及並びに食育の場の提供
対象 ※誰、何に対して	1、2に対しては農業者 3に対しては児童
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	1 農業地域振興協議会の開催による農業振興地域等の整備計画の検討 2 お米の栽培ごよみの作成 3 地域ブランド米を学校給食で使用してもらい、価格差を補てん

【コスト】

	平成27年度(決算見込)	
事業費合計	526 千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	千円
	一般財源	526 千円

【会計】

会計	01一般会計
款	06農林水産業費
項	01農業費
目	03農業振興費
細目	005農業振興事業

【コスト推移】

	平成27年度(決算見込)	平成26年度(決算)	平成25年度(決算)
事業費合計	526 千円	382 千円	382 千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	<p>本事業は農業振興地域等、地域農政の健全な推進に必要であると考えます。また稲作は本市では中心となる作物であるため栽培技術の確立を担うとともに、食育にもつながる地元産米の学校給食利用は効果的な地元米の普及に効果があると考えます。</p>

加古川市事務事業評価シート〈平成27年度実施事業〉

事務事業名	農業振興事業に要する一般的経費	部局名	地域振興部
		課(室)名	農林水産課

※政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業の一部については、以下の項目は空白です。

【対象】

対象指標名	単位	平成27年度	平成26年度	平成25年度

【事業実績】

活動指標名	単位	平成27年度	平成26年度	平成25年度
活動指標 分析結果				

【事業成果】

成果指標名	単位	平成27年度	平成26年度	平成25年度	目標年度	目標値
成果指標 分析結果						

加古川市事務事業評価シート〈平成27年度実施事業〉

事務事業名	農村整備事業に要する一般的経費	部局名	地域振興部
		課(室)名	農林水産課

【基本情報】

基本目標	04にぎわいの中で暮らせるまちをめざして
政策	01農業・水産業を振興する
施策	01農業を振興する
事業実施期間	～ 永年
事業区分	①一般事務経費事業
地区別	市内全域
関連根拠法令等	土地改良法

【事業概要】

現状と課題	生産基盤の整備と一体的に生活環境を整備し、快適で活力ある農村地域の形成、農業構造の改善（担い手の育成、農地利用集積効果の持続）が必要とされている。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	農村整備事業を円滑に推進する。
対象 ※誰、何に対して	農村整備事業
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	農村整備事業を円滑に推進するため必要な事務を行う。

【コスト】

	平成27年度(決算見込)	
事業費合計	71千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	千円
	一般財源	71千円

【会計】

会計	01一般会計
款	06農林水産業費
項	03農地費
目	07農村整備事業費
細目	005農村整備事業

【コスト推移】

	平成27年度(決算見込)	平成26年度(決算)	平成25年度(決算)
事業費合計	71千円	73千円	83千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	予算の適正な執行により、農村整備事業を円滑に推進するうえで十分な事業効果をあげている。

加古川市事務事業評価シート〈平成27年度実施事業〉

事務事業名	農村整備事業に要する一般的経費	部局名	地域振興部
		課(室)名	農林水産課

※政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業の一部については、以下の項目は空白です。

【対象】

対象指標名	単 位	平成27年度	平成26年度	平成25年度

【事業実績】

活動指標名	単 位	平成27年度	平成26年度	平成25年度
活動指標 分析結果				

【事業成果】

成果指標名	単 位	平成27年度	平成26年度	平成25年度	目標年度	目 標 値
成果指標 分析結果						

加古川市事務事業評価シート〈平成27年度実施事業〉

事務事業名	老朽ため池等整備事業に要する 一般的経費	部局名	地域振興部
		課(室)名	農林水産課

【基本情報】

基本目標	04にぎわいの中で暮らせるまちをめざして
政策	01農業・水産業を振興する
施策	01農業を振興する
事業実施期間	～ 永年
事業区分	①一般事務経費事業
地区別	市内全域
関連根拠法令等	土地改良法

【事業概要】

現状と課題	近年、集中豪雨や地震等の災害により、ため池が被災し、農用地だけでなく地域住民の生命や財産、公共施設にも甚大な被害が頻発している。
目的 ※対象(誰・何)を どのような状態 にしたいのか	老朽ため池等整備事業を円滑に推進する。
対象 ※誰、何に対して	老朽ため池等整備事業
事業内容 ※目的達成のため の手段・手法	警戒ため池に対し、警戒ため池解消を円滑に推進するため、老朽ため池等整備事業を県営事業、団体営事業で実施する。

【コスト】

	平成27年度(決算見込)	
事業費合計	1,278 千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	千円
	一般財源	1,278 千円

【会計】

会計	01一般会計
款	06農林水産業費
項	03農地費
目	03老朽ため池等整備事業費
細目	005老朽ため池等整備事業

【コスト推移】

	平成27年度(決算見込)	平成26年度(決算)	平成25年度(決算)
事業費合計	1,278 千円	1,080 千円	975 千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性 ・効率性の視点 をもとに総合的 に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	予算の適正な執行により、老朽ため池等整備事業を円滑に推進するうえで十分な事業効果をあげている。

加古川市事務事業評価シート〈平成27年度実施事業〉

事務事業名	老朽ため池等整備事業に要する 一般的経費	部局名	地域振興部
		課(室)名	農林水産課

※政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業の一部については、以下の項目は空白です。

【対象】

対象指標名	単 位	平成27年度	平成26年度	平成25年度

【事業実績】

活動指標名	単 位	平成27年度	平成26年度	平成25年度
活動指標 分析結果				

【事業成果】

成果指標名	単 位	平成27年度	平成26年度	平成25年度	目標年度	目 標 値
成果指標 分析結果						

加古川市事務事業評価シート〈平成27年度実施事業〉

事務事業名	しろやま農業研修センター管理 運営事業	部局名	地域振興部
		課(室)名	農林水産課

【基本情報】

基本目標	04にぎわいの中で暮らせるまちをめざして
政策	01農業・水産業を振興する
施策	01農業を振興する
事業実施期間	昭和58年度～永年
事業区分	②施設維持補修事業
地区別	志方地区
関連根拠法令等	加古川市立しろやま農業研修センターの設置及び管理に関する条例

【事業概要】

現状と課題	施設利用者も時代とともに世代交代が生じ、高齢者の活動参加が減少している。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	農業者その他地域住民の生活改善及び健康増進を図る。
対象 ※誰、何に対して	市民(主に志方東地区)
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	貸館業務を行う。

【コスト】

	平成27年度(決算見込)	
事業費合計	7,317千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	1,212千円
	一般財源	6,105千円

【会計】

会計	01一般会計
款	06農林水産業費
項	01農業費
目	02農業総務費
細目	025しろやま農業研修センター管理運営事業

【コスト推移】

	平成27年度(決算見込)	平成26年度(決算)	平成25年度(決算)
事業費合計	7,317千円	7,113千円	6,718千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了 地域住民が会議やサークル活動などに利用されており、住民相互の交流や健康増進、さらに農村機能の活性化等に効果がある。
---------------------------------------	---

加古川市事務事業評価シート〈平成27年度実施事業〉

事務事業名	しろやま農業研修センター管理 運営事業	部局名	地域振興部
		課(室)名	農林水産課

※政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業の一部については、以下の項目は空白です。

【対象】

対象指標名	単 位	平成27年度	平成26年度	平成25年度

【事業実績】

活動指標名	単 位	平成27年度	平成26年度	平成25年度
活動指標 分析結果				

【事業成果】

成果指標名	単 位	平成27年度	平成26年度	平成25年度	目標年度	目 標 値
成果指標 分析結果						

加古川市事務事業評価シート〈平成27年度実施事業〉

事務事業名	見土呂フルーツパーク管理運営事業	部局名	地域振興部
		課(室)名	農林水産課

【基本情報】

基本目標	04にぎわいの中で暮らせるまちをめざして
政策	01農業・水産業を振興する
施策	01農業を振興する
事業実施期間	平成11年度～永年
事業区分	②施設維持補修事業
地区別	市内全域
関連根拠法令等	加古川市見土呂フルーツパークの設置及び管理に関する条例

【事業概要】

現状と課題	都市部住民は自然とのふれあいや土いじりを通じた安心・安全な農業に対する関心が高い。そのようなニーズに応えるべく、自然環境に恵まれた地域を有効に活用し、果実の加工教室や玉ねぎ収穫祭等農業体験の場を提供している。※施設老朽化の対応が課題である。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	都市と農村の交流を図り、農業の振興と地域の活性化に寄与する。
対象 ※誰、何に対して	市民
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	農業と豊かな自然に親しむ機会を市民に提供する。

【コスト】

	平成27年度(決算見込)	
事業費合計	43,322千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	636千円
	一般財源	42,686千円

【会計】

会計	01一般会計
款	06農林水産業費
項	01農業費
目	03農業振興費
細目	015見土呂フルーツパーク管理運営事業

【コスト推移】

	平成27年度(決算見込)	平成26年度(決算)	平成25年度(決算)
事業費合計	43,322千円	42,209千円	40,791千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	都市住民が、農村・農民との交流によって農業に対する興味や理解が深まること期待され、自然と触れあい、農業と出会える数少ない施設である。

加古川市事務事業評価シート〈平成27年度実施事業〉

事務事業名	見土呂フルーツパーク管理運営事業	部局名	地域振興部
		課(室)名	農林水産課

※政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業の一部については、以下の項目は空白です。

【対象】

対象指標名	単 位	平成27年度	平成26年度	平成25年度
施設利用者数	人	128,215		

【事業実績】

活動指標名	単 位	平成27年度	平成26年度	平成25年度
施設利用者数	人	128,215		
活動指標分析結果	前年度より7,006人増			

【事業成果】

成果指標名	単 位	平成27年度	平成26年度	平成25年度	目標年度	目 標 値
施設利用者数	人	128,215				
成果指標分析結果	指定管理者の努力による。					

加古川市事務事業評価シート〈平成27年度実施事業〉

事務事業名	土地改良施設維持補修事業	部局名	地域振興部
		課(室)名	農林水産課

【基本情報】

基本目標	04にぎわいの中で暮らせるまちをめざして
政策	01農業・水産業を振興する
施策	01農業を振興する
事業実施期間	～ 永年
事業区分	②施設維持補修事業
地区別	市内全域
関連根拠法令等	

【事業概要】

現状と課題	平成17年度から農道(赤線)、農業用水路(青線)について市が維持管理を行うこととなり、施設の補修を行い、また補修内容によっては事業申請者に材料支給を行っているものである。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	土地改良施設の維持管理を行うことにより、災害を未然に防止し、農家経営の安定を図り地域の環境整備を図る。
対象 ※誰、何に対して	市所有の農道、農業用水路等の土地改良施設
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	市所有の農道、農業用水路等の土地改良施設の維持管理者(受益者である農家等)に対し、維持補修のための材料支給を行う。また、神野ポンプ場を維持補修することで、降雨時における五ヶ井水路の水位低下に努め、神野地区の農地浸水対策を行う。

【コスト】

	平成27年度(決算見込)	
事業費合計	5,260 千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	千円
	一般財源	5,260 千円

【会計】

会計	01一般会計
款	06農林水産業費
項	03農地費
目	01農地総務費
細目	010土地改良施設維持補修事業

【コスト推移】

	平成27年度(決算見込)	平成26年度(決算)	平成25年度(決算)
事業費合計	5,260 千円	5,165 千円	5,354 千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	予算の適正な執行により、土地改良施設の維持補修を円滑に推進するうえで十分な事業効果をあげている。

加古川市事務事業評価シート〈平成27年度実施事業〉

事務事業名	土地改良施設維持補修事業	部局名	地域振興部
		課(室)名	農林水産課

※政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業の一部については、以下の項目は空白です。

【対象】

対象指標名	単 位	平成27年度	平成26年度	平成25年度

【事業実績】

活動指標名	単 位	平成27年度	平成26年度	平成25年度
活動指標 分析結果				

【事業成果】

成果指標名	単 位	平成27年度	平成26年度	平成25年度	目標年度	目 標 値
成果指標 分析結果						

加古川市事務事業評価シート〈平成27年度実施事業〉

事務事業名	農村環境改善センター管理運営事業	部局名	地域振興部
		課(室)名	農林水産課

【基本情報】

基本目標	04にぎわいの中で暮らせるまちをめざして
政策	01農業・水産業を振興する
施策	01農業を振興する
事業実施期間	平成2年度 ～ 永年
事業区分	②施設維持補修事業
地区別	その他
関連根拠法令等	加古川市立農村環境改善センターの設置及び管理に関する法律

【事業概要】

現状と課題	特に農村住民のスポーツ及び文化活動等コミュニティ施設として活用されている。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	農業者及び地域住民の生活改善及び健康増進を図る。
対象 ※誰、何に対して	市民（主に八幡町と上荘町の一部）
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	貸館業務を行う。

【コスト】

	平成27年度(決算見込)	
事業費合計	5,726千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	1,508千円
	一般財源	4,218千円

【会計】

会計	01一般会計
款	06農林水産業費
項	01農業費
目	02農業総務費
細目	030農村環境改善センター管理運営事業

【コスト推移】

	平成27年度(決算見込)	平成26年度(決算)	平成25年度(決算)
事業費合計	5,726千円	5,583千円	5,644千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	地域に生活する人々の生活改善・合理化や健康増進の拠点となっている施設で、地域農村コミュニティの形成を図るためにも必要な施設である。

加古川市事務事業評価シート〈平成27年度実施事業〉

事務事業名	農村環境改善センター管理運営事業	部局名	地域振興部
		課(室)名	農林水産課

※政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業の一部については、以下の項目は空白です。

【対象】

対象指標名	単 位	平成27年度	平成26年度	平成25年度

【事業実績】

活動指標名	単 位	平成27年度	平成26年度	平成25年度
活動指標 分析結果				

【事業成果】

成果指標名	単 位	平成27年度	平成26年度	平成25年度	目標年度	目 標 値
成果指標 分析結果						

加古川市事務事業評価シート〈平成27年度実施事業〉

事務事業名	加古川市農林漁業祭事業	部局名	地域振興部
		課(室)名	農林水産課

【基本情報】

基本目標	04にぎわいの中で暮らせるまちをめざして
政策	01農業・水産業を振興する
施策	01農業を振興する
事業実施期間	昭和50年度～永年
事業区分	⑤市施策事業(経常)
地区別	その他
関連根拠法令等	

【事業概要】

現状と課題	米を除き、軟弱野菜を含めた野菜は全国各地のみならず外国産も多数流通し、安価なものが手に入る反面、安全性について消費者は不安を抱えている。厳しい経済情勢が続きなご、消費者は「価格」から「安全性」へ少しづつ意識が変化している。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	安心安全なかこがわ産の農畜水産物の普及と地産地消等により消費拡大を図る。
対象 ※誰、何に対して	市内の農畜水産業者(加工者含む)及び市民・都市住民
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	○農作物品評会及び出品野菜即売会 ○農産加工品販売及びかこがわ産農畜水産物公開抽選会 ○農業関係イベント及び体験会 ○地産地消メニュー提供の協賛飲食店によるPR ほか

【コスト】

	平成27年度(決算見込)	
事業費合計	1,000千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	千円
	一般財源	1,000千円

【会計】

会計	01一般会計
款	06農林水産業費
項	01農業費
目	02農業総務費
細目	010加古川市農林漁業祭事業

【コスト推移】

	平成27年度(決算見込)	平成26年度(決算)	平成25年度(決算)
事業費合計	1,000千円	1,100千円	1,100千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	市と農業団体等と一緒に主催する唯一の農業関係イベントであり、歴史的にも定着しており市民の認知度も高い。農業者の切磋琢磨の機会となっていること、PR効果、都市住民との交流が深まっていることから、継続実施が妥当である。

加古川市事務事業評価シート〈平成27年度実施事業〉

事務事業名	加古川市農林漁業祭事業	部局名	地域振興部
		課(室)名	農林水産課

※政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業の一部については、以下の項目は空白です。

【対象】

対象指標名	単位	平成27年度	平成26年度	平成25年度
加古川市人口(10/1付推計人口)	人	267,434	267,043	268,053

【事業実績】

活動指標名	単位	平成27年度	平成26年度	平成25年度
実施行事(事業)数	事業	39	36	37
協賛事業者(団体)数	事業者(団体)数	36	35	32
集客集	人	82,000	65,000	71,000
活動指標分析結果	集客数が前年度より12,000人増加			

【事業成果】

成果指標名	単位	平成27年度	平成26年度	平成25年度	目標年度	目標値
集客数	人	82,000	65,000	71,000	平成27年度	70,000
成果指標分析結果	集客数は、前年に比較し12千人の増となった。主な原因は地産地消メニュー協賛飲食店の数が17から20店舗と3店舗増となったこと、軽トラ市等の新規事業増加による。					

加古川市事務事業評価シート〈平成27年度実施事業〉

事務事業名	加古川市農林行政事務事業	部局名	地域振興部
		課(室)名	農林水産課

【基本情報】

基本目標	04にぎわいの中で暮らせるまちをめざして
政策	01農業・水産業を振興する
施策	01農業を振興する
事業実施期間	昭和45年度～永年
事業区分	⑤市施策事業(経常)
地区別	市内全域
関連根拠法令等	

【事業概要】

現状と課題	食の洋食化、多様化等により米消費量の減少が米価の下落に連動し、農業離れに拍車がかかる。そして後継者不足及び農家の高齢化により耕作放棄地が増加。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	市から農家への連絡調整等を農業団体連合会と連携して、市農林行政の円滑な推進を図る。
対象 ※誰、何に対して	市内農業団体長151名及び全農家
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	必要書類の提出依頼と回収業務等をはじめ、計画的に事務を推進する。

【コスト】

	平成27年度(決算見込)	
事業費合計	6,459千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	千円
	一般財源	6,459千円

【会計】

会計	01一般会計
款	06農林水産業費
項	01農業費
目	02農業総務費
細目	005農業行政に要する一般的経費

【コスト推移】

	平成27年度(決算見込)	平成26年度(決算)	平成25年度(決算)
事業費合計	6,459千円	6,534千円	6,567千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	行政と地域農業者を繋ぐ事務事業であり、市内全農家に対するパイプ役を十分に担っているものと考え。今後とも必要不可欠な事業と考える。

加古川市事務事業評価シート〈平成27年度実施事業〉

事務事業名	加古川市農林行政事務事業	部局名	地域振興部
		課(室)名	農林水産課

※政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業の一部については、以下の項目は空白です。

【対象】

対象指標名	単 位	平成27年度	平成26年度	平成25年度
農家	戸	7,041	7,169	7,193

【事業実績】

活動指標名	単 位	平成27年度	平成26年度	平成25年度
農家戸数	戸	7,041	7,169	7,193
水田面積	アール	212,296	216,113	217,947.3
活動指標 分析結果	【前年度比較】農家戸数▲128戸、水田面積▲3817アール			

【事業成果】

成果指標名	単 位	平成27年度	平成26年度	平成25年度	目標年度	目 標 値
農家戸数	戸	7,041	7,169	7,193	平成27年度	7,169
水田面積	アール	212,296	216,113	217,947.3	平成27年度	216,113
成果指標 分析結果	【前年度比較】農家戸数▲128戸、水田面積▲3817アール					

加古川市事務事業評価シート〈平成27年度実施事業〉

事務事業名	環境保全型農業直接支援対策事業	部局名	地域振興部
		課(室)名	農林水産課

【基本情報】

基本目標	04にぎわいの中で暮らせるまちをめざして
政策	01農業・水産業を振興する
施策	01農業を振興する
事業実施期間	平成24年度～永年
事業区分	⑤市施策事業(経常)
地区別	市内全域
関連根拠法令等	●環境保全型農業直接支援対策交付金交付要綱●平成27年度土づくり事業補助金交付要綱

【事業概要】

現状と課題	化学肥料の5割低減を達成することで、安心安全な加古川産農作物というPRにもなり、一部の法人団体については減農薬農作物のブランド化にも取り組んでおり、事業実施効果が見受けられる。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	農業の持つ物質循環機能を生かし、生産性との調和などに留意しつつ、土づくり等を通じて化学肥料、農薬の使用等による環境負荷の軽減に配慮した持続的な農業の活性化を図る。
対象 ※誰、何に対して	市内農業者又は集落営農組合のうち、エコファーマーの認定を受けている者。加えて、畜産農家のふん尿堆肥を地力増進のため使用する集落営農組合等
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	化学肥料及び化学合成農薬の使用を、地域の慣行から原則として5割以上低減する活動と、カバークロップの作付けあるいは炭素貯留効果の高い堆肥の水質保全に資する施用を組み合わせた取組を実施した事業対象者について、国1/2、県、市ともに1/4の補助率で補助金を交付する。加えて、畜産農家のふん尿堆肥を利用する集落営農組合等に対して、一定金額を補助

【コスト】

	平成27年度(決算見込)	
事業費合計	1,844千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	1,386千円
	地方債	千円
	その他特財	千円
	一般財源	458千円

【会計】

会計	01一般会計
款	06農林水産業費
項	01農業費
目	03農業振興費
細目	035環境保全型農業直接支援対策事業

【コスト推移】

	平成27年度(決算見込)	平成26年度(決算)	平成25年度(決算)
事業費合計	1,844千円	1,117千円	1,180千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	事業対象者は増加傾向にあり、環境への負荷の低減について、また安心安全な農作物の栽培について関心が高まっているものと考え。また平成27年度から法定化がなされたため、今後も事業実施の推進を図る。

加古川市事務事業評価シート〈平成27年度実施事業〉

事務事業名	環境保全型農業直接支援対策事業	部局名	地域振興部
		課(室)名	農林水産課

※政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業の一部については、以下の項目は空白です。

【対象】

対象指標名	単 位	平成27年度	平成26年度	平成25年度
事業対象面積	h a	42	48	59.2

【事業実績】

活動指標名	単 位	平成27年度	平成26年度	平成25年度
事業対象面積	h a	42	48	59.2
活動指標分析結果	一定の水準を保っており、妥当なものとする。			

【事業成果】

成果指標名	単 位	平成27年度	平成26年度	平成25年度	目標年度	目 標 値
事業対象面積	h a	42	48		平成30年度	50
成果指標分析結果	前年度から比較すると、土づくり推進事業が減少傾向にあるものの、環境保全型農業直接支援対策事業が増加傾向にあるため、事業実施の意図の観点から見ると一定の水準を保っており、事業推進が図られていると考える。					

加古川市事務事業評価シート〈平成27年度実施事業〉

事務事業名	経営所得安定対策推進事業	部局名	地域振興部
		課(室)名	農林水産課

【基本情報】

基本目標	04にぎわいの中で暮らせるまちをめざして
政策	01農業・水産業を振興する
施策	01農業を振興する
事業実施期間	平成24年度～永年
事業区分	⑤市施策事業(経常)
地区別	その他
関連根拠法令等	経営所得安定対策等推進事業実施要綱

【事業概要】

現状と課題	平成28年度においては、経営所得安定対策等(旧農業者戸別所得補償制度)の活動経費を同様の交付ルートにより交付されることになっている。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	加古川市地域農業再生協議会が、経営所得安定対策等の円滑な運営を図ることで、市内農業者の農業経営の安定化を図る。
対象 ※誰、何に対して	加古川市地域農業再生協議会
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	加古川市地域農業再生協議会が経営所得安定対策等を実施するうえで必要となる経費の定額を補助する。

【コスト】

	平成27年度(決算見込)	
事業費合計	7,417千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	7,417千円
	地方債	千円
	その他特財	千円
	一般財源	千円

【会計】

会計	01一般会計
款	06農林水産業費
項	01農業費
目	03農業振興費
細目	010経営所得安定対策推進事業

【コスト推移】

	平成27年度(決算見込)	平成26年度(決算)	平成25年度(決算)
事業費合計	7,417千円	7,456千円	7,500千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	<p>加古川市地域農業再生協議会の活動経費を交付することで、経営所得安定対策制度を効率的に運用することができている。また、この制度に加入することで、農業経営の安定化に資している。</p>

加古川市事務事業評価シート〈平成27年度実施事業〉

事務事業名	経営所得安定対策推進事業	部局名	地域振興部
		課(室)名	農林水産課

※政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業の一部については、以下の項目は空白です。

【対象】

対象指標名	単 位	平成27年度	平成26年度	平成25年度
活動団体数	団体	1	1	1

【事業実績】

活動指標名	単 位	平成27年度	平成26年度	平成25年度
加古川市地域農業再生協議会への補助金額	円	7,417,000	7,456,000	7,500,000
活動指標分析結果	当該補助金により加古川市地域農業再生協議会が経営所得安定対策制度における交付申請受付事務、要件確認事務、交付事務等を円滑に行うことができているため適切な補助金額であるといえる。			

【事業成果】

成果指標名	単 位	平成27年度	平成26年度	平成25年度	目標年度	目 標 値
交付申請書提出件数	件	2,383	2,507	2,652	平成28年度	2,383
農業者へ国交付金等直接支払額	円	204,427,207	201,394,366	262,396,000	平成28年度	204,427,207
成果指標分析結果	当該補助金により加古川市地域農業再生協議会が経営所得安定対策制度の円滑な推進を通して、旧制度よりも当市における農業者の補助金受給額が増加していることから効果的な補助金であるといえる。					

加古川市事務事業評価シート〈平成27年度実施事業〉

事務事業名	新規就農総合支援事業	部局名	地域振興部
		課(室)名	農林水産課

【基本情報】

基本目標	04にぎわいの中で暮らせるまちをめざして
政策	01農業・水産業を振興する
施策	01農業を振興する
事業実施期間	平成24年度～永年
事業区分	⑤市施策事業(経常)
地区別	市内全域
関連根拠法令等	新規就農・経営継承総合支援事業実施要綱

【事業概要】

現状と課題	農業従事者の高齢化の進行、農家数の減少傾向の中、新規就農を促進することで、農業の担い手の育成を図り、安定した農業生産基盤を維持する必要がある。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	新規就農意欲の喚起と就農後の定着を図る。
対象 ※誰、何に対して	45歳未満の新規就農者
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	経営の不安定な就農初期段階の青年就農者に対して年間最大150万円の給付金を給付する。

【コスト】

	平成27年度(決算見込)	
事業費合計	3,050千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	3,050千円
	地方債	千円
	その他特財	千円
	一般財源	千円

【会計】

会計	01一般会計
款	06農林水産業費
項	01農業費
目	03農業振興費
細目	012新規就農総合支援事業

【コスト推移】

	平成27年度(決算見込)	平成26年度(決算)	平成25年度(決算)
事業費合計	3,050千円	6,070千円	7,605千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	持続可能な力強い農業の実現、生産基盤の維持のため、新規就農者の確保は不可欠である。本事業は、経営の不安定な就農初期段階の青年就農者に対して支援を行うもので、就農意欲の喚起と就農後の経営を安定させることに必要な施策である。

加古川市事務事業評価シート〈平成27年度実施事業〉

事務事業名	新規就農総合支援事業	部局名	地域振興部
		課(室)名	農林水産課

※政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業の一部については、以下の項目は空白です。

【対象】

対象指標名	単 位	平成27年度	平成26年度	平成25年度
45歳未満の新規就農者数	人	1	9	5

【事業実績】

活動指標名	単 位	平成27年度	平成26年度	平成25年度
補助金交付対象者数	人	3	5	5
活動指標分析結果	交付要件に該当する者についての精査を行った結果であり、妥当なものとする。			

【事業成果】

成果指標名	単 位	平成27年度	平成26年度	平成25年度	目標年度	目 標 値
新規就農者数	人	1	12	10	平成27年度	12
認定農業者数	者	5			平成27年度	5
成果指標分析結果	新規就農者は減少している。認定農業者数は一定の成果を得ている。					

加古川市事務事業評価シート〈平成27年度実施事業〉

事務事業名	人・農地問題解決加速化支援事業	部局名	地域振興部
		課(室)名	農林水産課

【基本情報】

基本目標	04にぎわいの中で暮らせるまちをめざして
政策	01農業・水産業を振興する
施策	01農業を振興する
事業実施期間	平成24年度～永年
事業区分	⑤市施策事業(経常)
地区別	市内全域
関連根拠法令等	人・農地問題解決加速化支援事業実施要綱

【事業概要】

現状と課題	地域の農業の将来について、地域の農業者で話し合う契機となっている。農地中間管理機構に関連した事業の推進と共に実施していく必要がある。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	持続可能な農業の実現を目指し、農業の競争力・体質強化を図る。
対象 ※誰、何に対して	地域で農業を営んでいる経営体(個人、法人、集落営農)
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	「人・農地プラン」の作成、及び作成するための集落での話し合いを推進し、中心経営体への農地集積等を支援する。

【コスト】

	平成27年度(決算見込)	
事業費合計	75千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	37千円
	地方債	千円
	その他特財	千円
	一般財源	38千円

【会計】

会計	01一般会計
款	06農林水産業費
項	01農業費
目	03農業振興費
細目	011人・農地問題解決加速化支援事業

【コスト推移】

	平成27年度(決算見込)	平成26年度(決算)	平成25年度(決算)
事業費合計	75千円	82千円	105千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	「人・農地プラン」を作成することは、地域の農業の課題を、地域で話し合っ て解決するために有効な手段であり、足腰の強い農業の育成に繋がると考 える。

加古川市事務事業評価シート〈平成27年度実施事業〉

事務事業名	人・農地問題解決加速化支援事業	部局名	地域振興部
		課(室)名	農林水産課

※政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業の一部については、以下の項目は空白です。

【対象】

対象指標名	単 位	平成27年度	平成26年度	平成25年度
中心となる経営体	経営体	44	41	33

【事業実績】

活動指標名	単 位	平成27年度	平成26年度	平成25年度
「人・農地プラン」作成件数	件	2	5	1
活動指標分析結果	プランは、定期的に更新されており、また新たな地区での策定も見受けられる。			

【事業成果】

成果指標名	単 位	平成27年度	平成26年度	平成25年度	目標年度	目 標 値
「人・農地プラン」作成・変更件数	件	2	5	2	平成30年度	10
成果指標分析結果	プランは定期的な更新が必要であり、今後農地中間管理事業等関連した事業を推進するには、プラン作成が求められるため、さらなる推進が必要である。					

加古川市事務事業評価シート〈平成27年度実施事業〉

事務事業名	水稻生産調整実施事業	部局名	地域振興部
		課(室)名	農林水産課

【基本情報】

基本目標	04にぎわいの中で暮らせるまちをめざして
政策	01農業・水産業を振興する
施策	01農業を振興する
事業実施期間	～ 永年
事業区分	⑤市施策事業(経常)
地区別	市内全域
関連根拠法令等	米改革基本要綱

【事業概要】

現状と課題	需給に応じた米の生産調整の確保を図る一方で、農業生産人口が高齢化する中で不作付地の増加が懸念されている。そこで、米を作付しない水田を有効利用することで、不作付地の発生防止及び食料自給率の向上を図ることが求められている。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	米の生産調整の的確な実施により米価の安定による所得の確保を図り、米を作付しない水田において麦・大豆等の作付を奨励することを通して地域の特色ある水田農業の発展を図る。
対象 ※誰、何に対して	加古川市内の農業団体。
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	兵庫県より配分された米の生産数量目標に基づき、生産調整を実施するとともに、麦・大豆等の作付を奨励している。事業を円滑に実施するために、現地確認に対する事務委託や転作奨励補助金の交付を行う。

【コスト】

	平成27年度(決算見込)	
事業費合計	9,232 千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	539 千円
	地方債	千円
	その他特財	千円
	一般財源	8,693 千円

【会計】

会計	01一般会計
款	06農林水産業費
項	01農業費
目	03農業振興費
細目	007水稻生産調整実施事業

【コスト推移】

	平成27年度(決算見込)	平成26年度(決算)	平成25年度(決算)
事業費合計	9,232 千円	9,431 千円	9,409 千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	<p>今後も引き続き米の生産調整の廃止の動向に注視する一方で、現行では実行する必要性のある生産調整を確保しつつ、農地の有効利用を通して麦・大豆等の作付拡大による特色ある産地形成、担い手育成により持続ある農業経営を維持する環境づくりを支援する必要がある。</p>

加古川市事務事業評価シート〈平成27年度実施事業〉

事務事業名	水稻生産調整実施事業	部局名	地域振興部
		課(室)名	農林水産課

※政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業の一部については、以下の項目は空白です。

【対象】

対象指標名	単 位	平成27年度	平成26年度	平成25年度
活動団体数	団体	146	146	146

【事業実績】

活動指標名	単 位	平成27年度	平成26年度	平成25年度
水稻生産調整現地確認事務委託料	千円	3,021	3,044,700	3,094
水稻生産調整奨励補助金	千円	4,857	5,032,100	4,940
活動指標分析結果	農業団体への現地確認事務委託及び水稻生産奨励補助金を通じて、水稻生産調整と麦・大豆等の生産拡大、担い手の育成を図る資金として適切な金額であるといえる。			

【事業成果】

成果指標名	単 位	平成27年度	平成26年度	平成25年度	目標年度	目 標 値
生産調整達成率	%	97.4	99.8	99	平成28年度	100
転作奨励面積	アール	77,000	79,000	77,000	平成28年度	77,000
成果指標分析結果	生産調整を毎年確実に実効し、米を作付しない農地を有効利用し、麦・大豆等の転作作物の拡大等を図っているため、効果的であるといえる。					

加古川市事務事業評価シート〈平成27年度実施事業〉

事務事業名	多面的機能支払事業	部局名	地域振興部
		課(室)名	農林水産課

【基本情報】

基本目標	04にぎわいの中で暮らせるまちをめざして
政策	01農業・水産業を振興する
施策	01農業を振興する
事業実施期間	平成19年度～平成26年度
事業区分	⑤市施策事業(経常)
地区別	市内全域
関連根拠法令等	農地・水保全管理支払交付金交付要綱

【事業概要】

現状と課題	農地・農業用水等の資源の保全管理、農地周りの農業用排水路等施設の老朽化への対応や集落機能の維持向上の観点から、より一層の地域主体による保全管理の取組強化が求められている。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	地域共同による農地・農業用水等の資源の保全管理、また水路等農業用施設の保全管理と農村環境の保全向上を図る。
対象 ※誰、何に対して	市内の農業者、農業者以外(自治会・婦人会・PTA等)の者を含めた活動組織
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	農家、非農家共同で行う農地・水路等農業用施設の日常管理、長寿命化に取り組む活動組織に対し、農振農用地(田、畑)の面積に応じて活動支援交付金を交付する。

【コスト】

	平成27年度(決算見込)	
事業費合計	78,014千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	58,618千円
	地方債	千円
	その他特財	千円
	一般財源	19,396千円

【会計】

会計	01一般会計
款	06農林水産業費
項	03農地費
目	07農村整備事業費
細目	020多面的機能支払事業

【コスト推移】

	平成27年度(決算見込)	平成26年度(決算)	平成25年度(決算)
事業費合計	78,014千円	19,448千円	14,810千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	当事業により、農家・非農家共同で農村環境の改善、向上に取り組んでおり、その効果は大きいと考える。また、施設の老朽化による機能低下防止のためメンテナンスを行っており、農業基盤の安定が図れる。

加古川市事務事業評価シート〈平成27年度実施事業〉

事務事業名	多面的機能支払事業	部局名	地域振興部
		課(室)名	農林水産課

※政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業の一部については、以下の項目は空白です。

【対象】

対象指標名	単 位	平成27年度	平成26年度	平成25年度
農振農用地内集落	地区	48	48	47

【事業実績】

活動指標名	単 位	平成27年度	平成26年度	平成25年度
共同活動対象農用地面積	h a	1,110.63	1,018.4	998.2
向上活動対象農用地面積	h a	570.41	570.9	568.7
活動指標分析結果	前年度と比較し、面積26.2haの増となっている。			

【事業成果】

成果指標名	単 位	平成27年度	平成26年度	平成25年度	目標年度	目 標 値
農地・水保全管理支払交付金交付件数(共同活動)	地区	48	48	47	平成27年度	49
農地・水保全管理支払交付金交付件数(向上活動)	地区	29	29	29	平成27年度	31
成果指標分析結果	前年度と比較し、1地区の増となっている。					

加古川市事務事業評価シート〈平成27年度実施事業〉

事務事業名	畜産振興事業	部局名	地域振興部
		課(室)名	農林水産課

【基本情報】

基本目標	04にぎわいの中で暮らせるまちをめざして
政策	01農業・水産業を振興する
施策	01農業を振興する
事業実施期間	平成15年度～永年
事業区分	⑤市施策事業(経常)
地区別	市内全域
関連根拠法令等	

【事業概要】

現状と課題	平成18年には、兵庫県認証食品に認定され、兵庫県内において加古川和牛の認知度も高まってきている。近年は加古川食肉センターで処理した牛肉の海外への輸出が始まるなど、加古川市の畜産業に明るい兆しが見えてきている。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	畜産農家が安心して畜産業を営み、また畜産業が活気付くための取り組みを行い、畜産農家戸数及び飼養家畜頭数の維持・拡大を図る。
対象 ※誰、何に対して	市内畜産農家
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	○加古川市食肉公社における共励会の開催○加古川和牛流通推進協議会負担金

【コスト】

	平成27年度(決算見込)	
事業費合計	422千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	千円
	一般財源	422千円

【会計】

会計	01一般会計
款	06農林水産業費
項	02畜産業費
目	01畜産業振興費
細目	005畜産振興事業

【コスト推移】

	平成27年度(決算見込)	平成26年度(決算)	平成25年度(決算)
事業費合計	422千円	413千円	415千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	<p>共励会の開催及び地域ブランドの確立は生産意欲につながっていると考えるが、依然畜産業を取り巻く環境は厳しいものがあり、今後もより効果的な方法を考える必要がある。</p>

加古川市事務事業評価シート〈平成27年度実施事業〉

事務事業名	畜産振興事業	部局名	地域振興部
		課(室)名	農林水産課

※政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業の一部については、以下の項目は空白です。

【対象】

対象指標名	単 位	平成27年度	平成26年度	平成25年度
市内畜産農家	戸	20	22	23

【事業実績】

活動指標名	単 位	平成27年度	平成26年度	平成25年度
加古川市主催の共励会開催回数	回	1	1	1
加古川和牛流通推進協議会負担金額	円	200,000	200,000	200,000
活動指標分析結果	共励会では畜産農家の生産技術水準の向上を奨励するとともに、購買者への広報の場となっている。加古川和牛流通推進協議会においては、各種イベントで加古川和牛の宣伝に努めている。			

【事業成果】

成果指標名	単 位	平成27年度	平成26年度	平成25年度	目標年度	目 標 値
畜産農家戸数	戸	20	22	23	平成28年度	22
市内加古川和牛取扱加盟店舗数	店	15			平成28年度	15
成果指標分析結果	畜産業を取り巻く環境は飼料価格の高騰等、厳しいものとなっている。その結果、平成26年度当初から平成26年度末において加古川市内の農家戸数及び各農家の飼養頭数は減少しているが、その中でも畜産農家の存続につなげる活動が必要である。					

加古川市事務事業評価シート〈平成27年度実施事業〉

事務事業名	農漁業制度資金利子補給事業	部局名	地域振興部
		課(室)名	農林水産課

【基本情報】

基本目標	04にぎわいの中で暮らせるまちをめざして
政策	01農業・水産業を振興する
施策	01農業を振興する
事業実施期間	昭和62年度～永年
事業区分	⑤市施策事業(経常)
地区別	市内全域
関連根拠法令等	加古川市農漁業制度資金利子補給交付要綱。兵庫県農業基盤強化資金利子補給補助金交付要綱

【事業概要】

現状と課題	経営感覚に優れた効率的かつ安定的な農業者の育成による、足腰の強い産業構造の基盤づくりが求められている。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	制度資金の利用促進を通して、農家の資本装備の高度化と生産性の高い農家の育成を図る。
対象 ※誰、何に対して	農漁業制度資金を借り入れた農家
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	農漁業制度資金の利子補給

【コスト】

	平成27年度(決算見込)	
事業費合計	77千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	38千円
	地方債	千円
	その他特財	千円
	一般財源	39千円

【会計】

会計	01一般会計
款	06農林水産業費
項	01農業費
目	02農業総務費
細目	015農漁業制度資金利子補給事業

【コスト推移】

	平成27年度(決算見込)	平成26年度(決算)	平成25年度(決算)
事業費合計	77千円	137千円	176千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	制度資金利用者の利子負担の軽減により、農業者の経営安定による農業振興に寄与しており、制度資金の促進にも繋がっている。本事業は、国・県・市が合同で利子補給する制度であり、維持が妥当である。

加古川市事務事業評価シート〈平成27年度実施事業〉

事務事業名	農漁業制度資金利子補給事業	部局名	地域振興部
		課(室)名	農林水産課

※政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業の一部については、以下の項目は空白です。

【対象】

対象指標名	単 位	平成27年度	平成26年度	平成25年度
農家（認定農業者含む）	戸	33	30	28

【事業実績】

活動指標名	単 位	平成27年度	平成26年度	平成25年度
利子補給者数	件	6	7	7
活動指標分析結果	市交付要綱に基づいた数値である。			

【事業成果】

成果指標名	単 位	平成27年度	平成26年度	平成25年度	目標年度	目 標 値
利子補給が経営安定に繋がっていると思う人の割合	%	100	100	100	平成27年度	100
農業経営を継続している人の割合	%	100	100	100	平成27年度	100
成果指標分析結果	意欲的な農業者の負担を軽減させることは、安定した農業経営の確立につながる。					

加古川市事務事業評価シート〈平成27年度実施事業〉

事務事業名	農地集積協力金交付事業	部局名	地域振興部
		課(室)名	農林水産課

【基本情報】

基本目標	04にぎわいの中で暮らせるまちをめざして
政策	01農業・水産業を振興する
施策	01農業を振興する
事業実施期間	平成26年度～永年
事業区分	⑤市施策事業(経常)
地区別	その他
関連根拠法令等	農地集積・集約化対策事業実施要綱、農地集積協力金交付要綱

【事業概要】

現状と課題	未だ点在農地を担い手が耕作する現状は解消されていないと思われる。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	担い手への農地の集積・集約化を促進する。
対象 ※誰、何に対して	経営転換を図る農地所有者・連反化集積に協力しようとする農地所有者及び耕作者・地域内の一定割合以上の農地を集積する地域
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	農地中間管理機構を利用した農地の担い手への農地集積・集約化の推進について、機構に対し農地を貸し付けた個人及び地域への支援を図るために農地集積協力金を交付する。

【コスト】

	平成27年度(決算見込)	
事業費合計	107,483千円	
財源内訳	国庫支出金	107,483千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	千円
	一般財源	千円

【会計】

会計	01一般会計
款	06農林水産業費
項	01農業費
目	03農業振興費
細目	040農地集積協力金交付事業

【コスト推移】

	平成27年度(決算見込)	平成26年度(決算)	平成25年度(決算)
事業費合計	107,483千円	75,211千円	千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 維持 <input checked="" type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	要望のある集落の役員等を対象に説明会を行い、人・農地プランの策定と併せて推進していく。

加古川市事務事業評価シート〈平成27年度実施事業〉

事務事業名	農地集積協力金交付事業	部局名	地域振興部
		課(室)名	農林水産課

※政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業の一部については、以下の項目は空白です。

【対象】

対象指標名	単 位	平成27年度	平成26年度	平成25年度
集積農地面積	m ²	1,447,000	136,757	

【事業実績】

活動指標名	単 位	平成27年度	平成26年度	平成25年度
地域集積協力金交付金額	円	28,084,800	0	
経営転換協力金交付金額	円	72,300,000	16,200,000	
耕作者集積協力金交付金額	円	7,088,000	34,000	
活動指標分析結果	平成26年度からの事業であり、平成27年度は要望のある地区を中心に事業を実施した。			

【事業成果】

成果指標名	単 位	平成27年度	平成26年度	平成25年度	目標年度	目 標 値
集積農地面積	m ²	1,447,000	136,757		平成30年度	1,000,000
成果指標分析結果	平成26年度からの事業であるが、平成27年度は要望のある地区を中心として大幅に担い手への農地集積を推進することができた。					

加古川市事務事業評価シート〈平成27年度実施事業〉

事務事業名	未利用農地等活性化対策事業	部局名	地域振興部
		課(室)名	農林水産課

【基本情報】

基本目標	04にぎわいの中で暮らせるまちをめざして
政策	01農業・水産業を振興する
施策	01農業を振興する
事業実施期間	平成19年度～永年
事業区分	⑤市施策事業(経常)
地区別	市内全域
関連根拠法令等	

【事業概要】

現状と課題	農業者の高齢化・後継者不足は年々深刻なものとなり、耕作者不足により遊休化した農地が生産能力を失い、周辺環境に悪影響を及ぼす恐れがある。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	市内の遊休農地を積極的に活用し、農地の保全や農業後継者の育成などの課題解決を図り、地域農業の活性化と発展を目指す。
対象 ※誰、何に対して	市内の遊休農地
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	遊休農地を活用し、特色ある農産物の試験的作付け等を通じた研究開発を試み、特産品開発の取り組みや地産地消を進めている。また、市内の新規就農者を育成するための「かこがわ育農塾」で、遊休農地を実習場所として活用している。さらに、都市部近郊の遊休農地を「市民農園」として、農作物栽培を希望する市民の利用を促進している。

【コスト】

	平成27年度(決算見込)	
事業費合計	15,000千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	千円
	一般財源	15,000千円

【会計】

会計	01一般会計
款	06農林水産業費
項	01農業費
目	03農業振興費
細目	025未利用農地等活性化緊急対策事業

【コスト推移】

	平成27年度(決算見込)	平成26年度(決算)	平成25年度(決算)
事業費合計	15,000千円	15,000千円	17,000千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	新規就農者の育成や農作業の部分受託による農家への支援、新規栽培作物の開発などを通して、遊休農地の解消や農業後継者の育成などの課題解決を図り、地域農業の活性化と発展を目指すことを目的とした事業であり、今後も必要不可欠な事業である。

加古川市事務事業評価シート〈平成27年度実施事業〉

事務事業名	未利用農地等活性化対策事業	部局名	地域振興部
		課(室)名	農林水産課

※政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業の一部については、以下の項目は空白です。

【対象】

対象指標名	単 位	平成27年度	平成26年度	平成25年度
対象農地面積	h a	11	11	12

【事業実績】

活動指標名	単 位	平成27年度	平成26年度	平成25年度
特産作物栽培	品目	3	4	3
かこがわ育農塾修了者	人	2	2	4
市民農園管理数	件	14	15	15
活動指標分析結果	いずれも一定の水準で推移しており、妥当なものとする。市民農園開設については、開設費用に対して賃料が低く利益が出ないため、農地所有者が開設に踏み切れないという課題がある。			

【事業成果】

成果指標名	単 位	平成27年度	平成26年度	平成25年度	目標年度	目 標 値
遊休農地解消面積	h a	3.5	2.9	4	平成27年度	3.5
成果指標分析結果	年度により面積の増減があるものの、一定の水準を維持しており、妥当なものとする。					

加古川市事務事業評価シート〈平成27年度実施事業〉

事務事業名	遊休農地解消支援補助事業	部局名	地域振興部
		課(室)名	農林水産課

【基本情報】

基本目標	04にぎわいの中で暮らせるまちをめざして
政策	01農業・水産業を振興する
施策	01農業を振興する
事業実施期間	平成16年度～永年
事業区分	⑤市施策事業(経常)
地区別	市内全域
関連根拠法令等	

【事業概要】

現状と課題	本市農業は、全国的な傾向と同様に、農業者の高齢化・後継者不足に直面しており、耕作者不足による農地の遊休化が懸念されている。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	遊休農地の解消・防止を行うことで、農地の生産能力を維持し、良好な農村環境の形成を図る。
対象 ※誰、何に対して	農地の遊休化の未然防止や遊休農地の解消を図るための活動を行う市内の農業団体と集落営農組織。
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	農業団体等が景観形成作物(コスモス・そば等)や緑肥作物(れんげ等)を栽培するにあたり、種子代等の栽培に係る費用の一部を補助する。また、既に発生した遊休農地の解消を促進するため、耕作可能な農地状態への復元整備活動に係る費用の一部を補助する。

【コスト】

	平成27年度(決算見込)	
事業費合計	2,734千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	千円
	一般財源	2,734千円

【会計】

会計	01一般会計
款	06農林水産業費
項	01農業費
目	03農業振興費
細目	005農業振興事業

【コスト推移】

	平成27年度(決算見込)	平成26年度(決算)	平成25年度(決算)
事業費合計	2,734千円	2,710千円	2,917千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	<p>今後、農業者の高齢化・後継者不足に拍車がかかり、農地の遊休化が今以上に進むことが予想される中、市内の農業団体と集落営農組織が、自主的に地域のまとまりをもって農地の遊休化の未然防止や遊休農地の解消を図ることで、良好な農村環境の維持が期待できる。また、生産者と消費者の交流を深めるなどの取組みも行われており、地域農業について一般の市民が興味を持つきっかけ作りにも貢献している。</p>

加古川市事務事業評価シート〈平成27年度実施事業〉

事務事業名	遊休農地解消支援補助事業	部局名	地域振興部
		課(室)名	農林水産課

※政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業の一部については、以下の項目は空白です。

【対象】

対象指標名	単 位	平成27年度	平成26年度	平成25年度
活動団体数	団体	70	69	68

【事業実績】

活動指標名	単 位	平成27年度	平成26年度	平成25年度
活動団体への補助金額	円	2,734,000	2,710,000	2,917,000
活動指標分析結果	補助金額は作物の種子代の高騰などがあった場合には、年度ごとの見直しが必要である。			

【事業成果】

成果指標名	単 位	平成27年度	平成26年度	平成25年度	目標年度	目 標 値
遊休農地解消・発生防止面積	h a	196	176	186	平成27年度	180
成果指標分析結果	面積は年度ごとの作付計画等により変動するが、一定の水準を維持しており、妥当なものとする。					

加古川市事務事業評価シート〈平成27年度実施事業〉

事務事業名	安全安心ため池づくり事業	部局名	地域振興部
		課(室)名	農林水産課

【基本情報】

基本目標	04にぎわいの中で暮らせるまちをめざして
政策	01農業・水産業を振興する
施策	01農業を振興する
事業実施期間	平成24年度～永年
事業区分	⑥市施策事業(臨時)
地区別	市内全域
関連根拠法令等	農村地域防災減災事業実施要綱、いなみ野ため池ミュージアム運営協議会規約

【事業概要】

現状と課題	近年は東日本大震災や台風による集中豪雨が発生するなど、甚大な自然災害が多発化しており、ため池の防災安全度を劣化させる危険性がある。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	ため池に起因する災害の発生を未然に防止する。また、防災・減災の視点に立ち、地域住民全体が安全で安心して見守り、関わる体制を構築する。
対象 ※誰、何に対して	耐震性に関わるため池の一斉点検業務については、受益面積0.5ha以上のため池253箇所。負担金については、加古川市ため池協議会26協議会
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	現地調査により耐震性に係る危険度の総合判定を行う。安全安心なため池づくりを県及び3市2町で連携し、ため池協議会を通じて実施する。

【コスト】

	平成27年度(決算見込)	
事業費合計	20,281千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	18,381千円
	地方債	千円
	その他特財	千円
	一般財源	1,900千円

【会計】

会計	01一般会計
款	06農林水産業費
項	03農地費
目	03老朽ため池等整備事業費
細目	015安全安心ため池づくり事業

【コスト推移】

	平成27年度(決算見込)	平成26年度(決算)	平成25年度(決算)
事業費合計	20,281千円	3,250千円	5,899千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	<p>当事業は、県及び3市2町で地域住民のコミュニティー形成の向上に取り組んでおり、その効果は大きいと考える。また、ため池耐震診断・ハザードマップ作成業務、ため池一斉点検業務では、ため池に起因する災害の未然防止、減災対策に役割を果たしている。</p>

加古川市事務事業評価シート〈平成27年度実施事業〉

事務事業名	安全安心ため池づくり事業	部局名	地域振興部
		課(室)名	農林水産課

※政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業の一部については、以下の項目は空白です。

【対象】

対象指標名	単 位	平成27年度	平成26年度	平成25年度
ため池	箇所	49	50	151
加古川市ため池協議会	協議会	26	23	23

【事業実績】

活動指標名	単 位	平成27年度	平成26年度	平成25年度
一斉点検箇所	箇所	49	50	151
イベント活動	式	1	1	1
活動指標分析結果	ため池一斉点検業務については、3年間で250箇所を調査する計画である。平成27年度は最終年で49箇所を調査する。また、加古川市ため池協議会の26協議会に対しイベント活動支援を行う。			

【事業成果】

成果指標名	単 位	平成27年度	平成26年度	平成25年度	目標年度	目 標 値
事業進捗率	%	100	100	100	平成27年度	100
イベント活動支援	式	1	1	1	平成28年度	1
成果指標分析結果	ため池一斉点検業務については、計画どおり平成27年度末に完了した。また、イベント活動については前年度並みの実績となっている。					

加古川市事務事業評価シート〈平成27年度実施事業〉

事務事業名	ため池雨水貯留機能向上事業	部局名	地域振興部
		課(室)名	農林水産課

【基本情報】

基本目標	04にぎわいの中で暮らせるまちをめざして
政策	01農業・水産業を振興する
施策	01農業を振興する
事業実施期間	平成27年度～平成28年度
事業区分	⑦投資事業
地区別	市内全域
関連根拠法令等	

【事業概要】

現状と課題	近年は台風による集中豪雨が発生するなど、甚大な自然災害が多発化しており、総合治水対策として、ため池に雨水を一時的に「ためる」取組みで下流の水路や河川への負担を軽減させることができる。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	総合治水対策として、ため池の雨水貯留機能を高めるため、洪水吐越流部の切欠き等を実施する。
対象 ※誰、何に対して	市内ため池
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	ため池管理者へ事業可能なため池について調査し、計画的に事業実施する。

【コスト】

	平成27年度(決算見込)	
事業費合計	1,476千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	1,476千円
	地方債	千円
	その他特財	千円
	一般財源	千円

【会計】

会計	01一般会計
款	06農林水産業費
項	03農地費
目	03老朽ため池等整備事業費
細目	020ため池雨水貯留機能向上事業

【コスト推移】

	平成27年度(決算見込)	平成26年度(決算)	平成25年度(決算)
事業費合計	1,476千円	千円	千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	ため池に軽微な改修を施すことで雨水貯留機能を高め、災害の未然防止、減災対策に役割を果たしている。

加古川市事務事業評価シート〈平成27年度実施事業〉

事務事業名	ため池雨水貯留機能向上事業	部局名	地域振興部
		課(室)名	農林水産課

※政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業の一部については、以下の項目は空白です。

【対象】

対象指標名	単位	平成27年度	平成26年度	平成25年度
ため池	箇所	6		

【事業実績】

活動指標名	単位	平成27年度	平成26年度	平成25年度
ため池数	池	6		
活動指標分析結果	平成27年度は6池の工事を実施した。平成28年度は7池の工事を予定している。			

【事業成果】

成果指標名	単位	平成27年度	平成26年度	平成25年度	目標年度	目標値
ため池工事箇所	池	6			平成28年度	13
成果指標分析結果	計画どおり進捗が図られている。					

加古川市事務事業評価シート〈平成27年度実施事業〉

事務事業名	永室地区中の池整備事業	部局名	地域振興部
		課(室)名	農林水産課

【基本情報】

基本目標	04にぎわいの中で暮らせるまちをめざして
政策	01農業・水産業を振興する
施策	01農業を振興する
事業実施期間	平成27年度～平成32年度
事業区分	⑦投資事業
地区別	志方地区
関連根拠法令等	農村地域防災減災事業実施要綱、土地改良法第91条第6項(市町負担)

【事業概要】

現状と課題	ため池の老朽化が進んで危険な状態であるため、早期に工事を完成させ、地域全体としての防災安全度の向上を図る必要がある。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	改修することにより、災害を未然に防止し農業経営の安定を図る。
対象 ※誰、何に対して	志方町永室受益者140名、受益面積30ha
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	志方町永室地区の老朽ため池(中の池)に対し、県営事業で堤体工を行う。堤体は前刃金工法で改修し、前法面に制波ブロックまた取水施設、洪水吐を改修する。

【コスト】

	平成27年度(決算見込)	
事業費合計	8,119千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	8,119千円
	地方債	千円
	その他特財	千円
	一般財源	千円

【会計】

会計	01一般会計
款	06農林水産業費
項	03農地費
目	03老朽ため池等整備事業費
細目	005老朽ため池等整備事業

【コスト推移】

	平成27年度(決算見込)	平成26年度(決算)	平成25年度(決算)
事業費合計	8,119千円	千円	千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	予算の適正な執行により、平成32年度末の完了を目標に現状維持し事業を実施する。

加古川市事務事業評価シート〈平成27年度実施事業〉

事務事業名	永室地区中の池整備事業	部局名	地域振興部
		課(室)名	農林水産課

※政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業の一部については、以下の項目は空白です。

【対象】

対象指標名	単 位	平成27年度	平成26年度	平成25年度
受益面積	h a	30		

【事業実績】

活動指標名	単 位	平成27年度	平成26年度	平成25年度
調査設計業務	式	1		
堤体工(洪水吐・取水施設等)	式	0		
活動指標分析結果	平成27年度においては、市営事業により調査設計業務を実施した。			

【事業成果】

成果指標名	単 位	平成27年度	平成26年度	平成25年度	目標年度	目 標 値
事業進捗率	%	100			平成32年度	100
成果指標分析結果	平成32年度末の完了を目標として事業を実施し、計画どおり進捗が図られている。					

加古川市事務事業評価シート〈平成27年度実施事業〉

事務事業名	雁戸井地区経営体育成基盤整備事業	部局名	地域振興部
		課(室)名	農林水産課

【基本情報】

基本目標	04にぎわいの中で暮らせるまちをめざして
政策	01農業・水産業を振興する
施策	01農業を振興する
事業実施期間	平成23年度～平成32年度
事業区分	⑦投資事業
地区別	加古川北地区
関連根拠法令等	土地改良法第91条第6項(市町負担)

【事業概要】

現状と課題	用水路の老朽化が特に進んでおり、維持管理と水管理に多大な労力の負担を伴っている状況であることから、事業を早期に完成させ、維持管理作業を軽減し農作業の省力化を図る必要がある。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	ほ場整備の実施により水田の乾田化、農地の流動化を図るとともに、中核農家の育成、後継者づくりについて積極的に取り組む。また、汎用耕地化を図り、水稲単作の経営から複合経営による収益性の高い経営に転換する。農地の集団化を図り大型機械の共同利用により農家個々の機械過剰投資を抑制し、農作業の共同化も推進する。
対象 ※誰、何に対して	雁戸井地区(八幡町上西条、中西条、下村地内)受益者、受益面積74.6ha
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	区画整理44.5ha(整地工、農道、用水路、排水路等)、また用水路0.3kmの整備を行う。平成26年度から平成32年度にかけて県営事業で実施する。

【コスト】

	平成27年度(決算見込)	
事業費合計	11,395千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	8,900千円
	その他特財	千円
	一般財源	2,495千円

【会計】

会計	01一般会計
款	06農林水産業費
項	03農地費
目	04ほ場整備事業費
細目	005ほ場整備事業

【コスト推移】

	平成27年度(決算見込)	平成26年度(決算)	平成25年度(決算)
事業費合計	11,395千円	3,542千円	千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了 予算の適正な執行により、平成32年度末の完了を目標に現状維持し事業を実施する。
---------------------------------------	---

加古川市事務事業評価シート〈平成27年度実施事業〉

事務事業名	雁戸井地区経営体育成基盤整備事業	部局名	地域振興部
		課(室)名	農林水産課

※政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業の一部については、以下の項目は空白です。

【対象】

対象指標名	単 位	平成27年度	平成26年度	平成25年度
受益面積	h a	74.6	74.6	

【事業実績】

活動指標名	単 位	平成27年度	平成26年度	平成25年度
実施設計	式	1	1	
区画整理工	h a	0		
用水路工	k m	0.2		
活動指標分析結果	平成27年度においては、県営事業により実施設計業務及び用水路工を実施した。			

【事業成果】

成果指標名	単 位	平成27年度	平成26年度	平成25年度	目標年度	目 標 値
事業進捗率	%	100	100		平成32年度	100
成果指標分析結果	平成32年度末の完了を目標として事業を実施し、計画どおり進捗が図られている。					

加古川市事務事業評価シート〈平成27年度実施事業〉

事務事業名	市単独土地改良補助事業	部局名	地域振興部
		課(室)名	農林水産課

【基本情報】

基本目標	04にぎわいの中で暮らせるまちをめざして
政策	01農業・水産業を振興する
施策	01農業を振興する
事業実施期間	～ 永年
事業区分	⑦投資事業
地区別	市内全域
関連根拠法令等	加古川市土地改良事業補助金交付要綱、加古川市農業用排水機場災害対策事業補助金交付要綱

【事業概要】

現状と課題	近年、集中豪雨や地震等の災害により、老朽化した土地改良施設が被災し、地域住民の生命や財産、公共施設にも甚大な被害が頻発している。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	事業費の一部を補助することにより、農業経営の合理化及び農業生産力の増強を図るとともに、地域の防災や環境の保全を図る。
対象 ※誰、何に対して	市内の土地改良区、水利組合、農業団体、町内会
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	土地改良施設の維持管理者より事業申請を受け、現地立会、事業内容、事業費の査定を行い、受理したものに対し事業の承認を行い、事業費の一部を補助金として交付する。補助金は事業費が400千円～3,000千円の場合は(事業費-400千円)×0.4となり、事業費が3,000千円を超えると一律1,040千円の補助金となる。

【コスト】

	平成27年度(決算見込)	
事業費合計	12,633 千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	千円
	一般財源	12,633 千円

【会計】

会計	01一般会計
款	06農林水産業費
項	03農地費
目	01農地総務費
細目	015土地改良補助事業

【コスト推移】

	平成27年度(決算見込)	平成26年度(決算)	平成25年度(決算)
事業費合計	12,633 千円	17,893 千円	15,998 千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	土地改良施設の適正な維持管理は農業基盤の安定と共に、施設の持つ水害等の防災機能の保全にも大きく関わっている。近年の集中豪雨や大規模地震が予測されるなか、地域住民の安全安心な生活を確保するためにも、適正な維持管理は重要である。

加古川市事務事業評価シート〈平成27年度実施事業〉

事務事業名	市単独土地改良補助事業	部局名	地域振興部
		課(室)名	農林水産課

※政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業の一部については、以下の項目は空白です。

【対象】

対象指標名	単位	平成27年度	平成26年度	平成25年度
市内水利組合等	集落	18	24	24

【事業実績】

活動指標名	単位	平成27年度	平成26年度	平成25年度
ため池改修工事数	件	4	9	8
水路改修工事数	件	9	7	14
農道改修工事数	件	0	1	0
活動指標分析結果	前年度より若干工事数が減となったが、これからも農業経営の合理化及び農業生産力の増強を図るため補助事業を継続する必要がある。			

【事業成果】

成果指標名	単位	平成27年度	平成26年度	平成25年度	目標年度	目標値
市単独土地改良補助事業実績件数	件	18	24	24	平成28年度	22
成果指標分析結果	前年度より若干事業実績件数が減となっている。					

加古川市事務事業評価シート〈平成27年度実施事業〉

事務事業名	志方地区原皿池整備事業	部局名	地域振興部
		課(室)名	農林水産課

【基本情報】

基本目標	04にぎわいの中で暮らせるまちをめざして
政策	01農業・水産業を振興する
施策	01農業を振興する
事業実施期間	平成25年度～平成29年度
事業区分	⑦投資事業
地区別	志方地区
関連根拠法令等	農村地域防災減災事業実施要綱、土地改良法第91条第6項(市町負担)

【事業概要】

現状と課題	ため池の老朽化が進んで危険な状態であるため、早期に工事を完成させ、地域全体としての防災安全度の向上を図る必要がある。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	改修することにより、災害を未然に防止し農業経営の安定を図る。
対象 ※誰、何に対して	志方町原 受益者195戸、受益面積37.3ha
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	志方町原地区の老朽ため池(皿池)に対し、県営事業で堤体工を行う。堤体は前刃金工法で改修し、前法面に制波ブロックまた取水施設、洪水吐を改修する。

【コスト】

	平成27年度(決算見込)	
事業費合計	968千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	800千円
	その他特財	千円
	一般財源	168千円

【会計】

会計	01一般会計
款	06農林水産業費
項	03農地費
目	03老朽ため池等整備事業費
細目	005老朽ため池等整備事業

【コスト推移】

	平成27年度(決算見込)	平成26年度(決算)	平成25年度(決算)
事業費合計	968千円	6,804千円	2,802千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	予算の適正な執行により、平成29年度末の完了を目標に現状維持し事業を実施する。

加古川市事務事業評価シート〈平成27年度実施事業〉

事務事業名	志方地区原皿池整備事業	部局名	地域振興部
		課(室)名	農林水産課

※政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業の一部については、以下の項目は空白です。

【対象】

対象指標名	単 位	平成27年度	平成26年度	平成25年度
受益面積	h a	37.3	37.3	35

【事業実績】

活動指標名	単 位	平成27年度	平成26年度	平成25年度
調査設計業務	式	1	1	
堤体工（洪水吐・取水施設等）	式	1		
活動指標分析結果	平成27年度においては、県営事業により堤体工（洪水吐・取水施設等）の実施設計を実施した。			

【事業成果】

成果指標名	単 位	平成27年度	平成26年度	平成25年度	目標年度	目 標 値
事業進捗率	%	100	100	100	平成29年度	100
成果指標分析結果	平成29年度末の完了を目標として事業を実施し、計画どおり進捗が図られている。					

加古川市事務事業評価シート〈平成27年度実施事業〉

事務事業名	志方町地区善念ほ場整備事業	部局名	地域振興部
		課(室)名	農林水産課

【基本情報】

基本目標	04にぎわいの中で暮らせるまちをめざして
政策	01農業・水産業を振興する
施策	01農業を振興する
事業実施期間	平成11年度～平成42年度
事業区分	⑦投資事業
地区別	志方地区
関連根拠法令等	土地改良法、不動産登記法

【事業概要】

現状と課題	平成4年度の換地処分後、所有権の移転に伴う測量や農地転用に伴う分筆・測量等で法務局備付の図面・登記簿との相違が次々に判明し、支障をきたしている。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	現状と法務局備付図面を一致させる
対象 ※誰、何に対して	ほ場整備事業地区内土地所有者
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	用地確定測量及び用地確定登記

【コスト】

	平成27年度(決算見込)	
事業費合計	4,370千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	千円
	一般財源	4,370千円

【会計】

会計	01一般会計
款	06農林水産業費
項	03農地費
目	04ほ場整備事業費
細目	005ほ場整備事業

【コスト推移】

	平成27年度(決算見込)	平成26年度(決算)	平成25年度(決算)
事業費合計	4,370千円	4,536千円	3,623千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了 道路・水路で区切られた区画ごとに確定測量を行っており、引き続き年次計画に基づき事業を進めていく。
---------------------------------------	--

加古川市事務事業評価シート〈平成27年度実施事業〉

事務事業名	志方町地区善念ほ場整備事業	部局名	地域振興部
		課(室)名	農林水産課

※政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業の一部については、以下の項目は空白です。

【対象】

対象指標名	単 位	平成27年度	平成26年度	平成25年度
確定測量累計面積	h a	12.1	11.73	10.66

【事業実績】

活動指標名	単 位	平成27年度	平成26年度	平成25年度
確定測量累計面積	h a	12.1	11.73	10.66
活動指標分析結果	予定通りの業務が完了した。			

【事業成果】

成果指標名	単 位	平成27年度	平成26年度	平成25年度	目標年度	目 標 値
確定測量面積	h a	0.4	1.07	0.44	平成35年度	16.75
地図訂正(地積含む)面積	h a	1.1	0.44	0.7	平成35年度	11.85
成果指標分析結果	予定通りの業務が完了した。					

加古川市事務事業評価シート〈平成27年度実施事業〉

事務事業名	神吉地区馬頭池整備事業	部局名	地域振興部
		課(室)名	農林水産課

【基本情報】

基本目標	04にぎわいの中で暮らせるまちをめざして
政策	01農業・水産業を振興する
施策	01農業を振興する
事業実施期間	平成25年度～平成30年度
事業区分	⑦投資事業
地区別	加古川西地区
関連根拠法令等	農村地域防災減災事業実施要綱、土地改良法第91条第6項(市町負担)

【事業概要】

現状と課題	ため池の老朽化が進んで危険な状態であるため、早期に工事を完成させ、地域全体としての防災安全度の向上を図る必要がある。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	改修することにより、災害を未然に防止し農業経営の安定を図る。
対象 ※誰、何に対して	東神吉町神吉 受益者362戸、受益面積80ha
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	東神吉町神吉地区の老朽ため池(馬頭池)に対し、県営事業で堤体工を行う。堤体は補強盛土を行い、前法面に制波ブロックまた取水施設を改修する。

【コスト】

	平成27年度(決算見込)	
事業費合計	805千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	700千円
	その他特財	千円
	一般財源	105千円

【会計】

会計	01一般会計
款	06農林水産業費
項	03農地費
目	03老朽ため池等整備事業費
細目	005老朽ため池等整備事業

【コスト推移】

	平成27年度(決算見込)	平成26年度(決算)	平成25年度(決算)
事業費合計	805千円	9,998千円	5,195千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	予算の適正な執行により、平成30年度末の完了を目標に現状維持し事業を実施する。

加古川市事務事業評価シート〈平成27年度実施事業〉

事務事業名	神吉地区馬頭池整備事業	部局名	地域振興部
		課(室)名	農林水産課

※政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業の一部については、以下の項目は空白です。

【対象】

対象指標名	単 位	平成27年度	平成26年度	平成25年度
受益面積	h a	80	80	80

【事業実績】

活動指標名	単 位	平成27年度	平成26年度	平成25年度
調査設計業務	式	1	1	
堤体工(洪水吐・取水施設等)	式	1		
活動指標分析結果	平成27年度においては、県営事業により実施設計業務を実施した。			

【事業成果】

成果指標名	単 位	平成27年度	平成26年度	平成25年度	目標年度	目 標 値
事業進捗率	%	100	100	100	平成30年度	100
成果指標分析結果	平成30年度末の完了を目標として事業を実施し、計画どおり進捗が図られている。					

加古川市事務事業評価シート〈平成27年度実施事業〉

事務事業名	神野地区ため池等整備事業	部局名	地域振興部
		課(室)名	農林水産課

【基本情報】

基本目標	04にぎわいの中で暮らせるまちをめざして
政策	01農業・水産業を振興する
施策	01農業を振興する
事業実施期間	平成24年度～平成27年度
事業区分	⑦投資事業
地区別	加古川北地区
関連根拠法令等	土地改良法 第91条第2項(地元負担)、第91条第6項(市町負担)

【事業概要】

現状と課題	ため池の老朽化が進んで危険な状態であるため、早期に工事を完成させ、地域全体としての防災安全度の向上を図る必要がある。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	改修補強することにより、災害を未然に防止し農業経営の安定を図る。
対象 ※誰、何に対して	神野町神野 受益者67戸、受益面積16.3ha
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	神野町神野地区の老朽ため池(中の池、下の池)に対し、県営事業で堤体工を行う。堤体は前刃金工法で改修し、前法面に制波ブロックまた取水施設、洪水吐を改修する。

【コスト】

	平成27年度(決算見込)	
事業費合計	806千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	700千円
	その他特財	千円
	一般財源	106千円

【会計】

会計	01一般会計
款	06農林水産業費
項	03農地費
目	03老朽ため池等整備事業費
細目	005老朽ため池等整備事業

【コスト推移】

	平成27年度(決算見込)	平成26年度(決算)	平成25年度(決算)
事業費合計	806千円	6,109千円	3,238千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 完了
	予算の適正な執行により、平成27年度末に事業完了した。

加古川市事務事業評価シート〈平成27年度実施事業〉

事務事業名	神野地区ため池等整備事業	部局名	地域振興部
		課(室)名	農林水産課

※政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業の一部については、以下の項目は空白です。

【対象】

対象指標名	単 位	平成27年度	平成26年度	平成25年度
受益面積	h a	16.3	16.3	16.3

【事業実績】

活動指標名	単 位	平成27年度	平成26年度	平成25年度
堤体工(洪水吐・取水施設等)	式	1	1	1
活動指標分析結果	平成27年度においては、県営事業により水路復旧工(下の池)を実施した。			

【事業成果】

成果指標名	単 位	平成27年度	平成26年度	平成25年度	目標年度	目 標 値
整備率	%	100	100	100	平成27年度	100
成果指標分析結果	平成27年度末の完了を目標として事業を実施し、計画どおり完了した。					

加古川市事務事業評価シート〈平成27年度実施事業〉

事務事業名	鼎地区長慶井堰整備事業	部局名	地域振興部
		課(室)名	農林水産課

【基本情報】

基本目標	04にぎわいの中で暮らせるまちをめざして
政策	01農業・水産業を振興する
施策	01農業を振興する
事業実施期間	平成26年度～平成29年度
事業区分	⑦投資事業
地区別	志方地区
関連根拠法令等	農村地域防災減災事業実施要綱、土地改良法第91条第6項(市町負担)

【事業概要】

現状と課題	農業用河川工作物の構造が不適當・不十分、また本来の構造が失われ、前後一連の区間に比較してその治水機能が劣っており、洪水等からの安全を確保するため、早期に工事を完成させる必要がある。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	農業用河川工作物の構造が不適當であり治水上支障があるため、改善処置を講じ、災害の未然防止を図る。
対象 ※誰、何に対して	西神吉町鼎 受益者57戸 受益面積18.4ha
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	志方町志方町地区にある井堰(長慶井堰)に対し、県営事業で整備補強を行う。

【コスト】

	平成27年度(決算見込)	
事業費合計	990千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	800千円
	その他特財	千円
	一般財源	190千円

【会計】

会計	01一般会計
款	06農林水産業費
項	03農地費
目	07農村整備事業費
細目	005農村整備事業

【コスト推移】

	平成27年度(決算見込)	平成26年度(決算)	平成25年度(決算)
事業費合計	990千円	319千円	千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	予算の適正な執行により、平成29年度末の完了を目標に現状維持し事業を実施する。

加古川市事務事業評価シート〈平成27年度実施事業〉

事務事業名	鼎地区長慶井堰整備事業	部局名	地域振興部
		課(室)名	農林水産課

※政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業の一部については、以下の項目は空白です。

【対象】

対象指標名	単 位	平成27年度	平成26年度	平成25年度
受益面積	h a	18.4	18.4	

【事業実績】

活動指標名	単 位	平成27年度	平成26年度	平成25年度
計画変更業務	式	0	1	
頭首工	式	1		
活動指標分析結果	平成27年度においては、県営事業による実施設計業務を実施した。			

【事業成果】

成果指標名	単 位	平成27年度	平成26年度	平成25年度	目標年度	目 標 値
事業進捗率	%	100	100		平成29年度	100
成果指標分析結果	平成29年度末の完了を目標として事業を実施し、計画どおり進捗が図られている。					

加古川市事務事業評価シート〈平成27年度実施事業〉

事務事業名	農業機械格納庫解体事業	部局名	地域振興部
		課(室)名	農林水産課

【基本情報】

基本目標	04にぎわいの中で暮らせるまちをめざして
政策	01農業・水産業を振興する
施策	01農業を振興する
事業実施期間	平成27年度 ～ 平成27年度
事業区分	⑦投資事業
地区別	加古川地区
関連根拠法令等	

【事業概要】

現状と課題	
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	地元町内会で農業倉庫を現在利用がなく、今後も利用がないため
対象 ※誰、何に対して	町内会等
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	農業倉庫内の不要物の廃棄

【コスト】

	平成27年度(決算見込)	
事業費合計	54千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	千円
	一般財源	54千円

【会計】

会計	01一般会計
款	06農林水産業費
項	01農業費
目	03農業振興費
細目	005農業振興事業

【コスト推移】

	平成27年度(決算見込)	平成26年度(決算)	平成25年度(決算)
事業費合計	54千円	千円	千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 完了
	倉庫内の不要物の廃棄処理のみ実施し、当事業は一旦完了した。

加古川市事務事業評価シート〈平成27年度実施事業〉

事務事業名	農業機械格納庫解体事業	部局名	地域振興部
		課(室)名	農林水産課

※政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業の一部については、以下の項目は空白です。

【対象】

対象指標名	単位	平成27年度	平成26年度	平成25年度
対象施設数	ヶ所	1		

【事業実績】

活動指標名	単位	平成27年度	平成26年度	平成25年度
予定施設数	ヶ所	1		
活動指標分析結果	予定通り実施			

【事業成果】

成果指標名	単位	平成27年度	平成26年度	平成25年度	目標年度	目標値
実施施設数	ヶ所	1				
成果指標分析結果	予定通り実施					

加古川市事務事業評価シート〈平成27年度実施事業〉

事務事業名	八幡地区用水整備事業	部局名	地域振興部
		課(室)名	農林水産課

【基本情報】

基本目標	04にぎわいの中で暮らせるまちをめざして
政策	01農業・水産業を振興する
施策	01農業を振興する
事業実施期間	平成19年度～平成27年度
事業区分	⑦投資事業
地区別	加古川北地区
関連根拠法令等	土地改良法 第91条第6項(市町負担)

【事業概要】

現状と課題	用水路の老朽化が特に進んでおり、維持管理と水管理に多大な労力の負担を伴っている状況であることから、事業を早期に完成させ、維持管理作業を軽減し農作業の省力化を図る必要がある。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	整備することで維持管理費の節減により、効率的かつ安定的な農業経営を行うことができる。また、農地の集積が促進され、地域農業の持続的な発展を図る。
対象 ※誰、何に対して	八幡町全域、上荘町国包及び神野町の一部の受益者。受益面積231.9ha
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	県営事業で、用水路工(パイプライン) L=30.7km、排水路工L=5.0km、暗渠排水A=3.8haの改修及び整備を行う。また、加古川市東部土地改良区が事業主体で土地利用調整推進事業を行う。

【コスト】

	平成27年度(決算見込)	
事業費合計	1,049千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	800千円
	その他特財	千円
	一般財源	249千円

【会計】

会計	01一般会計
款	06農林水産業費
項	03農地費
目	07農村整備事業費
細目	015用水整備事業

【コスト推移】

	平成27年度(決算見込)	平成26年度(決算)	平成25年度(決算)
事業費合計	1,049千円	2,529千円	2,304千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 完了
	予算の適正な執行により、平成27年度末に事業完了した。

加古川市事務事業評価シート〈平成27年度実施事業〉

事務事業名	八幡地区用水整備事業	部局名	地域振興部
		課(室)名	農林水産課

※政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業の一部については、以下の項目は空白です。

【対象】

対象指標名	単 位	平成27年度	平成26年度	平成25年度
受益面積	h a	231.9	231.9	231.9

【事業実績】

活動指標名	単 位	平成27年度	平成26年度	平成25年度
排水路工	k m	3.1	1.9	
活動指標分析結果	平成27年度においては、県営事業で排水路工3.1kmを実施した。			

【事業成果】

成果指標名	単 位	平成27年度	平成26年度	平成25年度	目標年度	目 標 値
整備率	%	100	100	100	平成27年度	100
成果指標分析結果	平成27年度末の完了を目標として事業を実施しており、計画どおり事業完了した。					

加古川市事務事業評価シート〈平成27年度実施事業〉

事務事業名	農業委員会一般事務事業	部局名	農業委員会事務局
		課(室)名	農業委員会事務局

【基本情報】

基本目標	04にぎわいの中で暮らせるまちをめざして
政策	01農業・水産業を振興する
施策	01農業を振興する
事業実施期間	～ 永年
事業区分	①一般事務経費事業
地区別	市内全域
関連根拠法令等	農業委員会等に関する法律、農地法 等

【事業概要】

現状と課題	都市計画法（昭和43年）、農業振興地域の整備に関する法律（昭和44年）、農業経営基盤強化促進法（平成5年）、農地中間管理事業の推進に関する法律が施行など
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	農業委員会等に関する法律第6条に規定する所掌事務等の遂行。
対象 ※誰、何に対して	市民（主に農業者）
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	農地の転用や権利移動等の許可申請、届出等の法令事務を適正に行った。その他、農地や農業者に関する証明事務等を実施している。

【コスト】

	平成27年度（決算見込）	
事業費合計	2,720 千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	996 千円
	地方債	千円
	その他特財	千円
	一般財源	1,724 千円

【会計】

会計	01一般会計
款	06農林水産業費
項	01農業費
目	01農業委員会費
細目	005農業委員会一般事務事業

【コスト推移】

	平成27年度（決算見込）	平成26年度（決算）	平成25年度（決算）
事業費合計	2,720 千円	7,568 千円	1,738 千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了 農業委員会（地方自治法第180の5に規定する執行機関）の事務

加古川市事務事業評価シート〈平成27年度実施事業〉

事務事業名	農業委員会一般事務事業	部局名	農業委員会事務局
		課(室)名	農業委員会事務局

※政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業の一部については、以下の項目は空白です。

【対象】

対象指標名	単 位	平成27年度	平成26年度	平成25年度

【事業実績】

活動指標名	単 位	平成27年度	平成26年度	平成25年度
活動指標 分析結果				

【事業成果】

成果指標名	単 位	平成27年度	平成26年度	平成25年度	目標年度	目 標 値
成果指標 分析結果						

加古川市事務事業評価シート〈平成27年度実施事業〉

事務事業名	農業委員会事務委託事業	部局名	農業委員会事務局
		課(室)名	農業委員会事務局

【基本情報】

基本目標	04にぎわいの中で暮らせるまちをめざして
政策	01農業・水産業を振興する
施策	01農業を振興する
事業実施期間	～ 永年
事業区分	⑤市施策事業(経常)
地区別	市内全域
関連根拠法令等	農業委員会等に関する法律第6条第2項第5号、農業委員会等に関する法律施行令第3条

【事業概要】

現状と課題	農業者の高齢化、担い手不足、地域コミュニティの希薄化。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	市内の農家に、「農委だより」を配布し、農業及び農業者に関する情報提供を行うことにより、地域の農業振興を図る。
対象 ※誰、何に対して	市民(主に農家)
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	地域の農業団体長を通じて、「農委だよりの配布業務(年3回)」を行う。

【コスト】

	平成27年度(決算見込)	
事業費合計	868 千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	千円
	一般財源	868 千円

【会計】

会計	01一般会計
款	06農林水産業費
項	01農業費
目	01農業委員会費
細目	005農業委員会一般事務事業

【コスト推移】

	平成27年度(決算見込)	平成26年度(決算)	平成25年度(決算)
事業費合計	868 千円	1,173 千円	1,173 千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了 目的、社会情勢、コスト、手段等を総合的に判断すると、ここ数年は、現行の事業内容が妥当と判断する。
---------------------------------------	--

加古川市事務事業評価シート〈平成27年度実施事業〉

事務事業名	農業委員会事務委託事業	部局名	農業委員会事務局
		課(室)名	農業委員会事務局

※政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業の一部については、以下の項目は空白です。

【対象】

対象指標名	単 位	平成27年度	平成26年度	平成25年度
農家戸数（水稻生産実施計画書及び営農計画書）	戸	7,041	7,169	7,193

【事業実績】

活動指標名	単 位	平成27年度	平成26年度	平成25年度
活動数	回	453	755	755
活動指標分析結果	良好			

【事業成果】

成果指標名	単 位	平成27年度	平成26年度	平成25年度	目標年度	目 標 値
情報提供率	%	100	100	100	平成28年度	100
成果指標分析結果	良好					